

チロリ通信 Vol.19 (2022春)

発行元：NPO しずおかセラピードッグ サポートクラブ

〒410-0036 沼津市平町 24-4-902
TEL 055-962-3190 FAX 055-960-9720
<http://npo-stds.com/>



facebook home page



老犬たちの涙」写真展を開催しました！

【開催期間：2021年12月3日～12日】

写真を通して、ことばを持たない動物たちの声なき声を伝えるために活動している写真家「児玉小枝」さんの「老犬たちの涙」の写真展を行いました。当クラブでは、2006年と2007年に沼津市において、「児玉小枝」さんの写真展「ラストポートレート」～この世に生を受けて～を開催しました。およそ15年前に比べると、犬の殺処分数は減りましたが、今また新たに老犬の看取り拒否、介護放棄、老老介護破綻の問題が起きています。児玉さんの「老犬たちのいのちを守り、救うために、私たちにできる14のこと」を多くの方に伝えたく、今回は、富士市の会員のお知り合いのギャラリーをお借りして、開催しました。オーナー様のご厚意で、会員宅の老犬や里親募集中のワンコも滞在し開催することができました。(加藤 佳子)



【感想ノートより抜粋】

「どの写真も見ていてつらくなりしっかり見ることができません。ここ10年で殺処分はかなり減りました。近い将来、動物との共生社会が来ることを信じています。写真展を開いていただき、ありがとうございました。」

「貴重な写真を拝見できて勉強になりました。殺処分がなくなり、幸せに最期まで暮らせるワンコが増えることを切に願います。」

「どの犬の命も等しく大切ですが、老犬を捨てる、老犬が殺処分になることには、とりわけ人間としての罪を感じます。地道な啓発が、少しずつ広がってくれることを願います。」



【児玉小枝さん著書紹介】



【私たちにできる14のこと】

- 1、終生飼養の覚悟
- 2、介護サポーターを見つける
- 3、困ったときは早めに相談
- 4、犬のための貯蓄
- 5、犬の健康管理
- 6、正しいしつけ
- 7、鑑札と注射済票、迷子札をつける
- 8、行方不明になったらすぐに搜索
- 9、犬の老化現象や、犬がかかりやすい病気、介護サポーターについて学ぶ
- 10、老犬の気持ちを理解する
- 11、万が一のとき、犬を託す人を決めておく
- 12、老犬を救うボランティア活動に参加する
- 13、保護された老犬を家族に迎える
- 14、共生社会の実現

詳しくは、是非著書をご購入ください！
すべてルビ付なので、
お子様も読めます！

I. 捨て犬・命のレスキュー記録! 幸せになったワンコたち

① レオン君 2021.7月譲渡

子供さんが飼えなくなって、高齢のお婆さんと暮らしていた16オボーダーコリーのレオンくん。お婆さんの入院で困ってしまい、クラブに相談があり、離れて暮らしているご家族と数人のボランティアでチームを作り、サポートしました。猛暑の7月、レオンくんが居るのは焼けつくようなコンクリートの庭。そこで保冷剤を首に巻いたり、濡らして着る服を着せたり、ミストを取り付けて暑さを凌ぐ工夫をしたり、足腰が弱っているので100均の植木鉢ホルダーで水を飲みやすい高さにしてあげたり、LINEで密に連絡を取りつつ、行ける時間にお世話をしました。しかし、お婆さんが退院しても介護状態で犬の世話を出来ないことがわかり、再び窮地に立たされました。その時、当クラブと老犬に心を寄せてくださった方に連絡を差し上げますと、レオンくんの年齢も、血尿や複数の病持ちの事も全て受け入れて、遠い伊東から車を走らせてお迎えに来てくださいました。伊東に着いてからのレオンくんは、目まぐるしく変わる運命を受け止められず、ハンストしたり、噛みついてしまったようですが、優しく受け止めてくださり、その後涼しげな明るいテラスで寛ぐ姿や、笑顔で顔を寄せ合った写真が送られてきて、レオンくん和三洞さんのずっとの幸せを祈りました。(福田 洋枝)



② ジゲン君 (預かり名ボン) 2021.7月譲渡

2020年9月富士市で保護されたビーグル男の子。仮の名前「ボン君」民家の庭先に迷いこんだボン君はとってもフレンドリーでしたがマダニだらけだったそう。そんな状況からか飼い主返還はなく、クラブで引き出し、一時預かりをIさんをお願いしました。保健所職員さんから言われた気になること、、、発作があることでした。病院診察からお薬を飲み、発作の経過を観察していきました。気温変化や刺激になったことはないか? 預かりIさんに様子を聞きながら通院しながら、お薬で発作をコントロール。普段は食いしん坊、甘えん坊な元気いっぱいなボン君ですが譲渡会では人気者ながらも、ご縁はなかなか。そんな中、現れたY様ご家族。以前飼われていた亡き愛犬さんが脳腫瘍があり発作への理解をもつご家族でした。トライアル中、度重なる発作に戸惑われたこともありましたが、お気持ち聞きながら、ゆっくり進んでいき晴れて正式譲渡になりました! 新しい名前は「ジゲン君」(^o^) 亡き愛犬さんがゴエモン君、先輩犬はルパン君。そんなファミリーの一員となったジゲン君は嬉しくてますます元気いっぱい! 動物大好き! Y様ご家族様、ジゲン君をよろしく願いいたします。(笠井 清美)



③ ミミちゃん (預かり名 小梅) 2021.8月譲渡

2020年11月御殿場市で保護された白い中型の女の子。推定9才。シニア。着いていた首輪から飼い主返還を期待していましたが現れず。クラブで保護し我が家で一時預かりをしました。仮の名前「小梅ちゃん」大変穏やかな性格、我が家の犬達から吠えられてもニコニコマイペースな可愛い小梅ちゃん。譲渡会でも人気者でしたがなかなかご縁には繋がらず。預かりして8ヶ月が過ぎた初夏の譲渡会でO様ご夫妻と出逢い、トライアル決めました! 関東から移住し函南町でピザ屋さんを営んでおられるO様ご夫妻。近所にはたくさんの犬仲間さんがいらっしや、小梅ちゃんのトライアルは楽しいものでした。小梅ちゃんは持ち前のマイペースさでO様や環境慣れていき晴れて正式譲渡! オペラ観賞がご趣味なご主人の、大好きなヒロインから名前をいただき、新しい名前「ミミちゃん」となりました(へー) ミミちゃんはO様ご夫妻の大切な愛犬となり、さらにはお店の看板犬、休日には家族みんなでいろいろなお出かけもしちゃうお嬢様犬となりました! ミミちゃん~よかったね! O様ご夫妻様、ありがとうございます!(笠井 清美)



O様ご夫妻のピザ屋さん
La Boheme 電話 055-918-8570
静岡県田方郡函南町平井 1740-902

④ゴードン君 2022.1月譲渡

ゴードン君 保健所に保護され飼い主が現れなかった首輪無しのハイシニアのビーグル。推定15歳以上で、保護当時、お耳の中も汚く咳込みがひどくヨタヨタ状態、きっと飼い主から見放されて捨てられたと思わざるを得ない外見でした。そんなビーグル犬に笠井会長がつけた名前がゴードンでした。ゴードンは、ビーグル特有の甘え上手でユーモアな性格でお散歩中によく私を笑かしてくれました。正式譲渡は無理かなと思っていた時に、里親様から面会及びトライアルの希望を頂きました。老犬には老犬の可愛さと良さがありますが、いざ家族に迎えると思うと様々な葛藤があると思います。今回それを乗り越えての正式譲渡となりました。ゴードンの犬生これからずっと幸せです。本当に、大きな幸せを掴むことが出来ました。里親の土屋様ありがとうございます。ゴードンをよろしくお願い致します。(志田 はる美)



⑤弥生ちゃん(預かり名:ミッチ)2022.2月譲渡

ミッチは、飼い主の引越しにより里親募集を依頼された柴犬でした。今まで、蝶よ花よと可愛がられていたのに飼い主の都合による手放し行為。社会的にも今後増えるだろうと思われる問題です。命を迎えたら最後まで責任を持つこと、安易にペットショップで命を迎えてはならないことを今回のミッチの預かりで切に思いました。ミッチは、新しいご家族とご縁があり幸せになりましたが命を迎えるということの重大さと責任を私達はこれからもしっかり伝えていきたいと思っています。(志田 はる美)



⑥テオドル君 2022.2月譲渡

保健所に収容されたガリガリに痩せ、皮膚の状態も良くない大型犬。保護期限が迫ってきても飼い主が現れず、このままだと最悪殺処分対象となってしまう。なんとかしなくては！と気持ちばかりが焦る。保護犬を飼っている顔の広い知人がいた事を思い出し、状況を伝えた。すぐさま友人たちに状況を拡散してくれたところ、預かり希望ではなく里親希望が現れた。期限切れ当日一緒に犬に会いに行き、その場で里親になる決心をしていただいた。勇気ある決断に心から感謝したい。今回またこうしてひとつの大切な命が繋がった。この犬は現在里親さん家族と共に明るく元気に暮らしています。犬がいなくなっても探そうとしないもと飼い主のような人には犬を飼ってほしくない。鑑札未装着の場合こうして保健所に収容され、生命の危険に晒されてしまう。飼い主は最低限のモラルとして首輪に鑑札を着ける事を守ってほしい。(長谷川 厚子)



Ⅱ. 2021年度活動報告

Ⅰ. 保護犬譲渡会

保健所から引き出した保護犬の新たな飼い主を見つけるための譲渡会、チャリティーバザー、啓発コーナー、ワンコ相談など犬(猫)の幸せイベントを協力団体と共に。

- R3. 4.18 沼津市役所玄関前
- R3. 5.16 わんにゃん Spot リア
- R3. 6.20 大仁あさいクリニック
- R3. 7.18 沼津市役所玄関前
- R3.10.17 大仁あさいクリニック
- R3.11.21 沼津市役所玄関前
- R3.12.19 函南町役場玄関前



保護犬応援イベント

わんわん 10月17日(日)
10時～12時

大にあさいクリニック おたすけ会

大にあさいクリニック
伊豆の国市 146-1

※新型コロナウイルスの感染予防のため、必ずマスク着用の上、お越しください。
イベントの収益は全て犬の保護活動に寄付させていただきます。

主催 大部(わんわんお助け隊) 090-3850-3890
このポスターの有効期限は2021年10月17日まで。

2. 同行避難勉強会 2021.6 月



2011年の東日本大震災以降、地震発生時など災害時に、避難所のペットに関わる取決めがされていなかったことによるトラブルが危惧されています。

このことから、静岡県では、避難所におけるペット衛生管理として、避難所運営本部と飼い主の役割を示した「避難所のペット飼育管理ガイドライン」を作成。

また、自治体によっては、防災訓練の際に、ペットの同行避難訓練を行っているところもあります。

今後、幅広く皆さんに理解してもらい、同行避難を実際に訓練してもらえる様に、県の担当者にご説明頂き、意見交換を行いました。(加藤 元章)

3. 小学生の総合学習「職業講話」で クラブの活動紹介 2021.10 月

沼津市第五地区センターの地域事業の一環として、小学校での職業講話に参加。開北小学校と第五小学校にて、動物ボランティアの活動や仕事などの話をさせていただきました。

保護犬活動において大切なこと、動物飼育員、動物看護師としての大変さや必要な心構えなど、生徒さんはメモをとりながら真剣に聞いてくれました。

「命と向き合うこと、それはボランティアであっても職業であっても同じです。動物も私達人間と同じ「命」だから。一生懸命話を聞いてくれたお子さん達の眼差しに、明るい未来を感じました。(笠井 清美)



4. 飼育相談



クラブ預かりもしてくださるIさんから「飼い犬を安楽死させたいと言ってる知り合いがいるから話をきいてやってほしい」と相談を受け、その方に会いに行ってきました。10才のウェルシュコーギー男の子。コーギー含め3匹飼っている相談者さん。自身の健康面や生活のこと、このまま飼いつけることへの不安があり、特にこのコーギーは度々飼い主さんも噛まれていたのでその不安から安楽死を決め動物病院に予約までしているとのこと。お話をゆっくり伺い、安楽死をする意図があまりにも理不尽であることから説得をし、お世話のサポートをさせていただきながら、飼い主様とコミュニケーションを図っていきました。ある日、「あのまま安楽死をしなくてよかった。このコは私がしっかり最期までお世話します」と言ってくださいました。そのコーギーは今でも元気になっています。飼い主様が穏やかになったことでコーギー君も表情が明るくポジティブな変化が。犬を飼うことは簡単なことじゃない。飼うことは最期までのお世話をしていくこと。私達は生きるうえで時々、つらく大変な状況になることがあります。悩み思い詰めで、周りに胸の内を明かして、助けを求めて欲しい。私達ボランティアにできることは限られますが、何かのサポートはできるかもしれない。あらたな関わり方に気付いた、一件でした。(笠井 清美)

会員募集!

NPOしずおかセラピードッグサポートクラブは会員の皆さんの会費、募金により運営されています。活動にご賛同される方は是非会員登録をお願いいたします。



年会費

一般 3,000円

賛助 10,000円

お振込み先

沼津信用金庫本店

普通 538294

NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ

★セラピードッグ育成募金へのご協力ありがとうございます!(募金箱設置の会社、お店など)

(株) ジャスコム / 阿蘭陀館 / (株) リブテック / ペ・ド・ノンヌ / 沼津観光協会 / ecodog / パイネ動物病院 / 共生会
NPO SIDAM / ドッグサロン・ビビ / トニーズホノルル / ドッグカフェ ポワポワ / スナック ジョンブル / しゃんぴによん
わんこのパフィー / クリーニングのサトウ / 極メンチ / あにぱんや / オレンジポット / 美容室 ジェメラーレ
ドッグサロン・アイビー / スターキのあさくま / 飯田歯科医院 / 居酒屋 元 THE 衛門 / (株) 影山鉄工所 / Café day
沼津信用金庫 / ジャンボエンチャー吉原店 / レストラン エンジェル / 沼津印刷 (株) / 順漢堂鍼灸整骨院